

「平成 28 年度 第 2 回習志野市公営企業運営協議会」会議録

1	会 議 名	平成 28 年度 第 2 回習志野市公営企業運営協議会																																												
2	開 催 日 時	平成 28 年 8 月 26 日（金） 午後 1 時 30 分																																												
3	開 催 場 所	習志野市企業局 新館 3 階 D E 会議室																																												
4	出席者氏名	<p>出席委員</p> <p>伊東 弘樹 香取 裕子 小澤 淳 佐々木 光世 鈴木 とし江 田久保 直子 田尻 正代 右島 信幸（議長） 三代川 浩一 森 英樹</p> <p>出席職員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>企業管理者</td> <td>若林 一敏</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務部長</td> <td>渡邊 伸晴</td> <td>工務部長</td> <td>市瀬 秀光</td> </tr> <tr> <td>業務部次長</td> <td>秋谷 修</td> <td>工務部次長</td> <td>加藤 潔</td> </tr> <tr> <td>営業企画室長</td> <td>市原 秀一</td> <td>総務課長</td> <td>大山 勝巳</td> </tr> <tr> <td>経理課長</td> <td>渡辺 裕之</td> <td>料金課長</td> <td>森下 雅之</td> </tr> <tr> <td>営業企画室副室長</td> <td>江口 禎治</td> <td>営業企画室副室長</td> <td>川嶋 一挙</td> </tr> <tr> <td>工務管理課長</td> <td>大橋 高士</td> <td>建設課長</td> <td>吉橋 敏夫</td> </tr> <tr> <td>供給課長</td> <td>中村 充宗</td> <td>保安課長</td> <td>三橋 尚和</td> </tr> <tr> <td>業務部主幹</td> <td>福田 淳</td> <td>業務部主幹</td> <td>吉川 充定</td> </tr> <tr> <td>工務部主幹</td> <td>御山 俊行</td> <td>工務部主幹</td> <td>丸山 善也</td> </tr> <tr> <td>工務部主幹</td> <td>盛 康二</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	企業管理者	若林 一敏			業務部長	渡邊 伸晴	工務部長	市瀬 秀光	業務部次長	秋谷 修	工務部次長	加藤 潔	営業企画室長	市原 秀一	総務課長	大山 勝巳	経理課長	渡辺 裕之	料金課長	森下 雅之	営業企画室副室長	江口 禎治	営業企画室副室長	川嶋 一挙	工務管理課長	大橋 高士	建設課長	吉橋 敏夫	供給課長	中村 充宗	保安課長	三橋 尚和	業務部主幹	福田 淳	業務部主幹	吉川 充定	工務部主幹	御山 俊行	工務部主幹	丸山 善也	工務部主幹	盛 康二		
企業管理者	若林 一敏																																													
業務部長	渡邊 伸晴	工務部長	市瀬 秀光																																											
業務部次長	秋谷 修	工務部次長	加藤 潔																																											
営業企画室長	市原 秀一	総務課長	大山 勝巳																																											
経理課長	渡辺 裕之	料金課長	森下 雅之																																											
営業企画室副室長	江口 禎治	営業企画室副室長	川嶋 一挙																																											
工務管理課長	大橋 高士	建設課長	吉橋 敏夫																																											
供給課長	中村 充宗	保安課長	三橋 尚和																																											
業務部主幹	福田 淳	業務部主幹	吉川 充定																																											
工務部主幹	御山 俊行	工務部主幹	丸山 善也																																											
工務部主幹	盛 康二																																													
5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>議題「平成 27 年度習志野市公営企業会計決算概要（案）」 経理課 渡辺課長より説明</p> <p>1. ガス事業について</p> <p>(1) ガス事業の概要</p> <p>平成 27 年度末お客様（メーター）件数 77,071 件 お客様（メーター）増加件数 1,407 件 ガス販売量 60,439 千³m ガス本支管布設延長数 8,217m ガス原料購入量 61,013 千³m (東京ガス 72.4%・関東天然瓦斯開発 27.6%)</p> <p>(2) 収支の概要</p> <p>事業収益 6,720,531 千円 事業費用 6,327,475 千円 当年度純利益（事業収益－事業費用） 393,056 千円</p> <p>[内訳]</p> <p>営業収支 203,675 千円 営業雑収支 51,976 千円 営業外収支 138,951 千円</p>																																												

特別損失 △1,546 千円

(3) 剰余金の処分

当年度純利益	393,056 千円
利益剰余金変動額	320,000 千円
当年度未処分利益剰余金	713,056 千円
※利益剰余金処分量	
①減債積立金	92,692 千円
②利益積立金	300,364 千円
③建設改良積立金	320,000 千円
合計	713,056 千円

2. 水道事業について

(1) 水道事業の概要

平成 27 年度末お客様（メーター）件数 56,281 件
お客様（メーター）増加件数 660 件
水道販売（給水）量 11,507 千³m
配水管布設延長数 4,231m
水源からの取水量 12,365 千³m
(北千葉広域水道企業団 34.3%・地下水 65.7%)

(2) 収支の概要

事業収益 2,238,151 千円
事業費用 1,816,802 千円
当年度純利益（事業収益－事業費用） 421,349 千円

[内訳]

営業収支 △54,293 千円
営業外収支 475,967 千円
特別損失 △325 千円

(3) 剰余金の処分

当年度純利益	421,349 千円
当年度未処分利益剰余金	421,349 千円
※利益剰余金処分量	
①減債積立金	227,000 千円
②利益積立金	62,349 千円
③建設改良積立金	132,000 千円
合計	421,349 千円

ガス・水道事業について説明終了後、質疑応答

(小澤委員)

お客様メーター数は順調に推移していますが、売上の推移を見るとかな

り落ちてきています。これは大口のお客様の部分になるのでしょうか。

(市原営業企画室長)

販売量は前年度と比べると 300 万㎡ほど減少していますが、大口のお客様で 220 万㎡の減少がございます。家庭用でも 70 万㎡減少がございますが、前年度と比べて夏季の気温が低く、冬季は気温が高かったために給湯需要や冷房需要が減少したことが要因と考えられます。

(小澤委員)

27 年度はガスの原料価格がかなり下がってきていますが、これが前年度以前のように大幅に上がってしまうと経営を逼迫すると思われます。原料価格の推移の今後の見通しを教えてください。

(江口営業企画室副室長)

今回の原料価格の値下がりについて一般的に言われている要素としては、中国経済の減速、アメリカのシェールオイルの生産が伸びてきていること、そして通常であれば価格調整のために中東を中心とする産油国が減産するところで、産油国が生産量を維持している現状があります。このため供給が過剰になり値下がりしたという状況でございます。都市ガス原料の液化天然ガスについては、多くが原油価格にほぼリンクして動くので、それにあわせて価格が下がってきております。

今後の見通しにつきましては、日本に輸入している原油価格はここ 3 ヶ月ほど値上がりに転じており、液化天然ガスはそこから 3、4 ヶ月ほどしてから変動しますので値上がり傾向と考えています。長い目で見ますと、緩やかに上昇していくのではないかと思います。

(小澤委員)

今後、原料価格が多少上下しても市民の使用料金に反映されないような営業努力が必要かと思えます。公営企業として他市よりも安いガスと水道の供給を目指して欲しいと思えます。

(鈴木委員)

委託料について、ガス会計では 24 年度から減ってきたものが 27 年度は前年度比で 2,300 万円増えています。水道会計も同様に 400 万円増えています。これはなぜでしょうか？

(渡辺経理課長)

ガスの委託料の増加ですが、委託料の中にガス消費機器調査の定期保安検査の委託がございます。これは 3 年に 1 度地域別で実施しているもので

すが、その件数は毎年一定ではなく、27年度は前年度に比べて2,200件ほど多いため、その影響で委託料が増加しております。

水道については、水道管の基幹管路が古くなってきており、今後の入れ替えのため埋設状況の調査を実施しました。調査は試掘をして行うもので450万円ほどかかっており、こうした分の増加でございます。

(森委員)

ガス売上が落ちてきている中で、今後も機器性能の向上などによりそれほど売上の増加は見込めないと思いますが、メーター一件数が増えれば、経費も増えてきますので、売上が上がらないと経費だけは変わらずにかかってしまう状況になります。原料価格が下がれば売上の価格も下がってしまうということですが、その幅は上げられないわけですよね。

逆に原料価格が上がれば売上高も上がるということで、利益率は変わらないにしても利益額は変わるので、一般管理費がだいたい固定されている中で、原料価格が上がってこないと粗利額が得られなくなるため、一般管理費を減らしていくとか売上数を増やすとかそういうところが必要になってくるのではないかと思います。

平成27年度は事業費用で11億8,400万円減っていますが、原材料費で13億以上減っているため、一般管理費が増えてきている状況です。今後もこのような状況が続いていくと思われませんが、こうした状況に対する対策があれば伺います。

(若林企業管理者)

今後の企業会計にとっては非常に大事なことだと思います。営業利益は今後も減少傾向が予想されます。そして平成29年4月からはガスの小売自由化が予定されていますので、その点でも減少傾向になると想定しています。こうした中で経営体質を守っていくためには、固定費である一般管理費をいかに抑えていくかが重要な課題であると考えております。

水道に関しては、三期赤字に転じているということで、局内の委員会でも効率的な経営に向けた業務改善を検討するよう指示したところですが、ガスに関しても、固定費の見直しも含めた中で今後の企業局にあった組織体制を作り上げていかなければならないと考えております。

(伊東委員)

ガスのお客さまメーター一件数が1,400件増えているのに対し、水道は660件の増加となっておりますが、この差は県営水道分ということでしょうか。

(市原営業企画室長)

ガスの1,400件の増加のうち、奏の社で大型マンションの843件を含め

て約 1,000 件の増加になっています。水道は JR 以北のみが供給エリアと
なっていますので、この差が発生しているということでございます。

(伊東委員)

26 年度に関しては 7 件と他の年度では大して変わらないですが、なぜ
でしょうか。

(渡邊業務部長)

ガスは奏の杜地区で 1,196 件増えており、他の地区は東習志野が 89 件、
屋敷が 68 件等々となっております。水道は東習志野が 189 件、本大久保
が 127 件等々となっております。27 年度に奏の杜地区の件数が多かった
ためこのような数値になっていると思われま。

(鈴木委員)

利益積立金とはなんですか。

(渡辺経理課長)

赤字が出たときに補填するために積立てるものであります。

(鈴木委員)

今回、水道だけ利益積立金があります。ガスは赤字になる見込みがない
ということなのですか。それとも、水道、ガスともに積立金があるの
ですか。

(渡辺経理課長)

ガス会計、水道会計それぞれに利益積立金がございます。ガスは今年度
は積んでいませんが、現在 2 億 1,000 万円ほどの積立金があります。水道
の方も多少ございますが、販売量の減少傾向や人口推計も 31 年度以降は
減少の見通しであるため、今回、利益積立金を積み立てております。

報告事項について

1. ナラシドウォーター販売について

営業企画室 川嶋副室長より説明

2016 年度モンドセレクションにおいて、習志野市の水が金賞を受賞し
ました。受賞に合わせて、ナラシドウォーターが新しいパッケージとな
って登場しました。安全、安心でおいしい水道水を蛇口から直接飲んでい
ただけよう PR するために作成しました。

きらっとまつりやガスフェスタ、各種イベントでお配りしていますが、
購入を希望するお客様の声にお応えし、企業局窓口で税込 1 本 500ml 100

円で販売いたします。ケース単位の注文は、電話やファックス、インターネットでもお受けしています。

2. 第 47 回ガスフェスタ開催について

営業企画室 川嶋副室長より説明

今年は「ガスの魅力を再発見!ガスフェスタ」をテーマとして、11月12日（土曜日）、13日（日曜日）午前10時から午後4時まで、昨年同様に袖ヶ浦体育館で開催します。

内容は、ガス機器の展示・予約販売・調理実演・模擬店・各種イベント・小学校児童絵画展を行う予定です。また例年同様に同時開催として、農業祭、健康フェア、消防救急フェア、体力測定会、昔遊び体験教室を開催します。お客様には、見て触れて感じていただく、体感型の器具展示などを考えており、ガス機器の安全性とガス火の良さをPRしてまいります。

3. 8月6日に発生した濁り水について

建設課 吉橋課長より説明

8月6日（土曜日）午前3時に泉町3丁目3番地先で実施した水道工事の影響により、濁り水が発生しました。

工事に際しては、万一に備え22名体制で待機しておりましたが、午前8時40分に第1報を受けた後、被害拡大の恐れがあったため、午前10時5分に第一次出動体制とし44名で対応しました。

発生後、通報のあったお客様等への対応を行うとともに、ホームページ等による情報発信を行いました。

原因は、水道遮断弁の閉止後に、水道管内の圧力バランスが崩れたことにより濁り水が発生し、各地に拡散したものと想定しています。

今回の件を教訓とし、事前の検証と対策、対応体制について改善してまいります。

4. 8月18日に落雷の影響で発生した濁り水について

供給課 中村課長より説明

8月18日（木曜日）午後4時54分に落雷により瞬時停電（1秒以内の停電）が発生し、第2給水場の水道ポンプが一時的に停止しました。これにより、配水量に変化が生じたことで、濁り水が発生しました。

発生後、36名体制で対応し、電話の受付状況から濁り水発生箇所を把握し、広報車で周知を行うとともに、ホームページ等による情報発信を行いました。

5. 第1給水場更新・（仮称）第4給水場建設工事の入札結果について

工務部 御山主幹より説明

第1給水場更新・(仮称)第4給水場建設工事のうち、土木・建築工事の施工業者が決定しました。

入札は一般競争入札総合評価落札方式で実施し、契約金額は税抜20億7千万円で三井住友建設株式会社東関東支店に決定しました。

主な提案内容として、水密性の確保、地域経済への貢献、施工中の対策等がございました。契約期間は平成28年8月23日から平成32年3月31日までとなっております。

各報告事項の説明後、質疑応答

(三代川委員)

ナラシドウォーターは、前回の運営協議会で販売は予定していないということでしたが、販売していただくということで良かったと思います。販売方法についてですが、インターネットでも購入可能ということは、全国の方が買えることになりませんが、どのくらいの本数を製造するのでしょうか。また、せっかく習志野の水を売るので、市民には10円でも安い価格で販売できたら良いと思うのですが、いかがでしょうか。

(市原営業企画室長)

まず、規模ということですが、本数は2万5千本作成します。ご指摘の価格の件ですが、市のイベント開催の際は無償でお配りすることにしております。その上で購入希望者には販売するという形をとっております。

(若林企業管理者)

例年PR用に1万本作成しておりましたが、今年度はモンドセレクション金賞を受賞し、販売をするということで2万5千本に増やしております。

市民には安く販売できないかというご質問ですが、今回の2万5千本作成で原価が約100円となっております、利益はありません。その点ご理解いただければ幸いです。

(鈴木委員)

一般に店舗で販売されている水は100円以下で売られているため、果たしてナラシドウォーターは売れるのかなと思ってしまいます。もっとたくさん作って単価を下げて作成できないのでしょうか。

(渡邊業務部長)

いくらで販売するかは議論になりました。近隣事業者等の状況も調べた所、ほとんどが1本100円での販売でした。富山県は10万本単位で作成しており原価は安くなっていると伺いましたが、ホテルに卸したりしているためそれだけの本数を作れるという背景があります。他の市町村では、

		<p>だいたい1万本を非常用という名目で作っているということです。</p> <p>普通に水道をひねってそれがいくらかと考えると、ペットボトルは高いと思われませんが、パッケージを作ってそこに水を詰めるとなると時間と費用がかかってきます。企業局では昨年1万本作らせていただき、原価が110円ほどでした。今回2万5千本に増やして90何円かになります。トラックで1回に運べる量なども関係しており、この本数にさせていただいております。</p> <p>500mlが1本100円ということで高いとお思いになる方は他にもいらっしゃると思いますが、PRのため皆様に無料でお配りするという従来のスタンスにプラスして、どうしても欲しいという方には100円で購入いただくという考え方の中でこのような形をとらせていただきました。</p> <p>(若林企業管理者)</p> <p>市民まつりでチラシを配布しましたが、購入したいというお声は1件だけでした。たくさん作れば原価は下がりますが、売れなければ赤字になってしまいます。現在、営業収支は赤字ですので、売れる見込みがあるのであれば大量に作るのですが、同じ水を蛇口から使っている方が果たして1本100円で買うのかということを考えますと、そこは様子を見てから判断したいと思っております。今回は、あくまで試作として作らせていただいておりますのでご理解いただければと思います。</p> <p>(三代川委員)</p> <p>イベント等でお配りするというのですが、線引きはどういったあたりなるのでしょうか。</p> <p>(大山総務課長)</p> <p>できるだけ多くのお客様が参加するイベントでと考えております。</p> <p>具体的には市や教育委員会の後援行事などの他、市民まつり、ガスフェスタでは配布を予定しています。習志野市の水道水のPRとして作成しておりますので、その趣旨の範囲で無償提供を考えてまいります。</p>
6	お問い合わせ先	<p>所管課名：習志野市企業局 業務部総務課</p> <p>電話番号：047-475-3321</p>